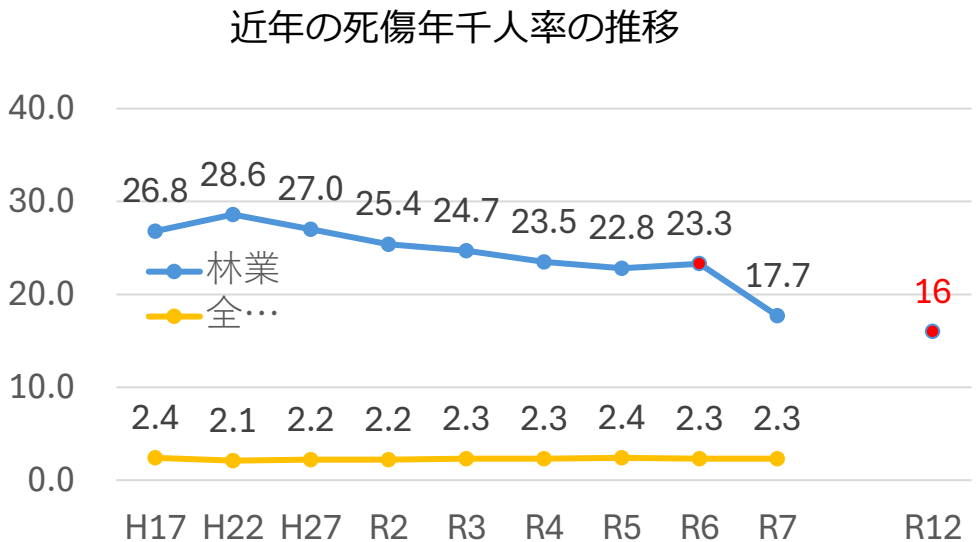
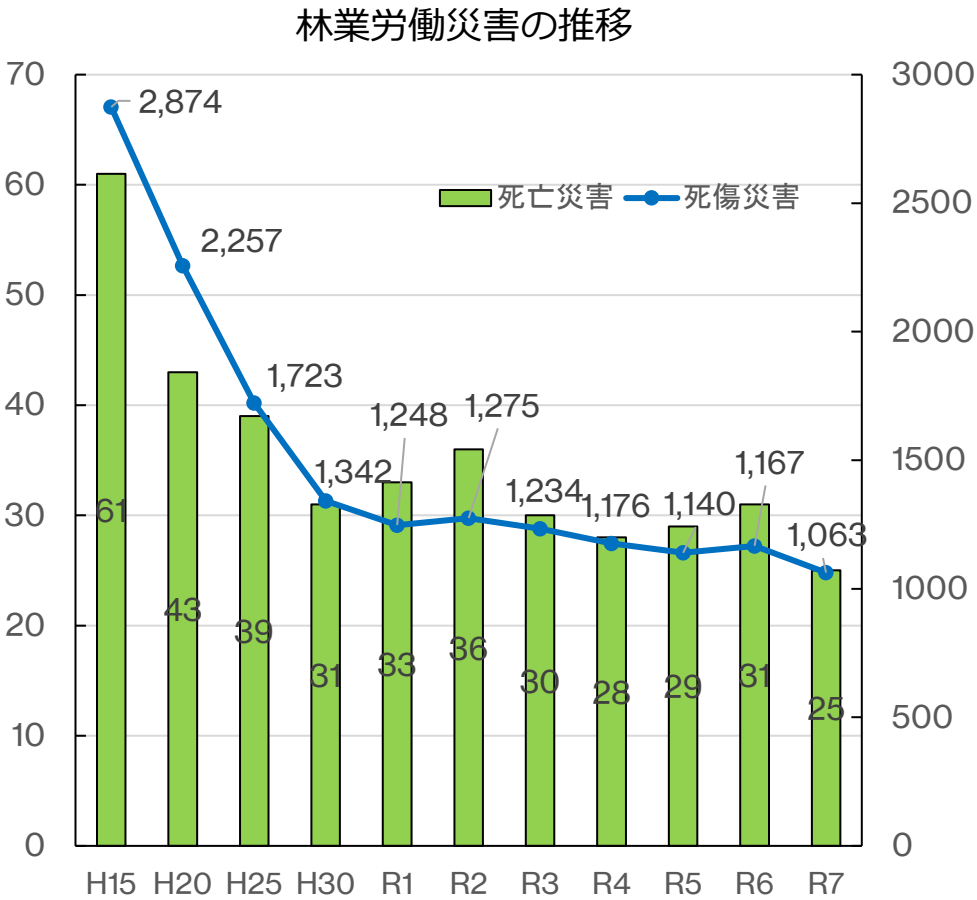


林業の労働災害発生状況と 労働安全確保に向けた留意事項について

林野庁 経営課
林業労働・経営対策室

林業における労働災害の発生状況

- 労働災害は長期的に減少傾向（平成15年との比較で死傷数、死亡数ともに約 4 割の水準まで減少）
- 全産業平均と比較し、死傷年千人率は約 8 倍、労災保険率は約12倍



業種別の死傷年千人率と労災保険率

業 種	死傷年千人率 (R6) : %	労災保険率 (R6.4~) : %
全産業平均	2.3	4.4
木材・木製品製造業	11.2	13.0
建設業	4.2	15.0
林 業	23.3	52.0
農 業	5.6	13.0
漁 業	12.7	13.0~37.0

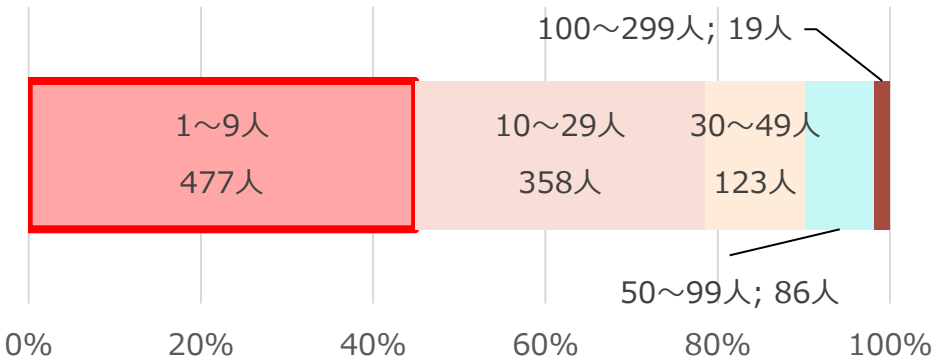
林業における労働災害の発生状況（R 7 死傷災害）

- 主な事故の型別では、「激突され」が最も多く、次いで「切れ・こすれ」、「飛来・落下」の順
- 「激突され」及び「墜落・転落」は重大な災害につながるおそれ強い

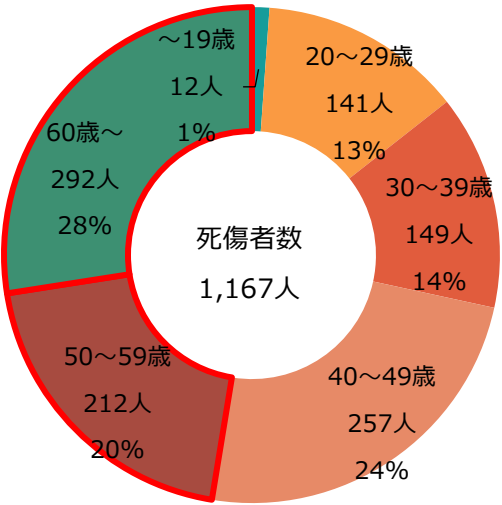
主な事故の型別

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
死傷災害 (うち死亡災害)	1,234 (30)	1,176 (28)	1,140 (29)	1,167 (31)	1,063 (25)
激突され	284 (15)	274 (16)	242 (12)	252 (17)	242 (16)
切れ・こすれ	239 (－)	189 (－)	198 (－)	201 (－)	168 (－)
飛来・落下	170 (4)	172 (2)	164 (1)	183 (3)	155 (2)
転倒	139 (2)	151 (1)	146 (2)	126 (1)	113 (1)
墜落・転落	156 (5)	138 (5)	140 (9)	156 (2)	155 (5)
はさまれ・ 巻き込まれ	73 (1)	75 (1)	61 (1)	74 (2)	66 (1)
崩壊・倒壊	34 (1)	39 (3)	32 (2)	36 (4)	13 (－)

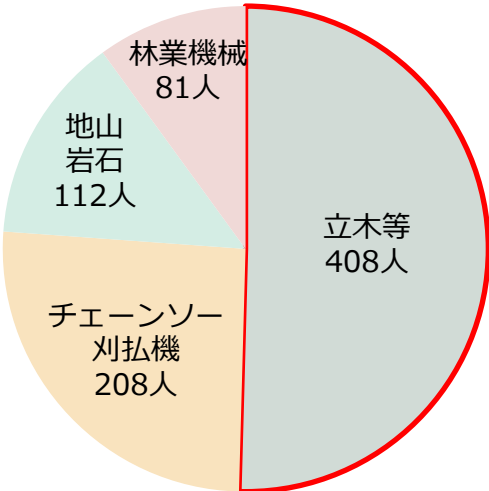
経営規模別



年齢層別



主な起因物別



令和7年・8年の死亡災害発生状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
R 7	4	3	3	3	0	1	2	1	4	1	0	3	25
R 8	2	3	0	0	3	1							9

データ出典：厚生労働省 令和7年における労働災害発生状況（確定）

：厚生労働省 令和8年における労働災害派発生状況（令和8年7月）

●令和7年における林業労働災害（死亡災害）一覧

No.	月	都道府県	発生状況
1	1	北海道	集材作業中、グラップル機で引き上げようとした伐倒木に激突された
2	〃	長崎県	伐倒作業中、伐倒木の近くで倒れているのが発見された
3	〃	北海道	伐倒作業中、外れたかかり木に激突された
4	〃	山口県	伐倒作業中、伐倒木に激突された
5	2	熊本県	枝打ち中、伐倒木に激突された
6	〃	群馬県	伐倒作業中、かかられた木を伐倒しようとして幹折れし、かかり木とともに落下して激突された
7	〃	北海道	伐倒作業中、伐倒木が裂けて激突した
8	3	北海道	伐倒作業中、伐倒木が突風で予定外の方向に倒れ激突された
9	〃	北海道	伐倒作業中、伐倒木がかかり木に当たった反動で跳ね激突された
10	〃	福島県	集材作業中、木材グラップル機で伐倒木の集材作業中にグラップル機とともに転落
11	4	鹿児島県	伐倒作業中、伐倒木とつる絡みしていた立木が倒れ激突した
12	〃	徳島県	伐倒作業中、伐倒木の幹が裂け激突された
13	〃	大分県	伐倒作業中、伐倒方向がずれ岩に当たり跳ねた元口に激突された
14	6	大分県	伐倒作業中、隣接木につるがらみした枯損木が折れて激突した
15	7	静岡県	伐倒作業中、フォワーダを運転中に伐倒木に激突された

● 林業労働災害（死亡災害）速報一覧

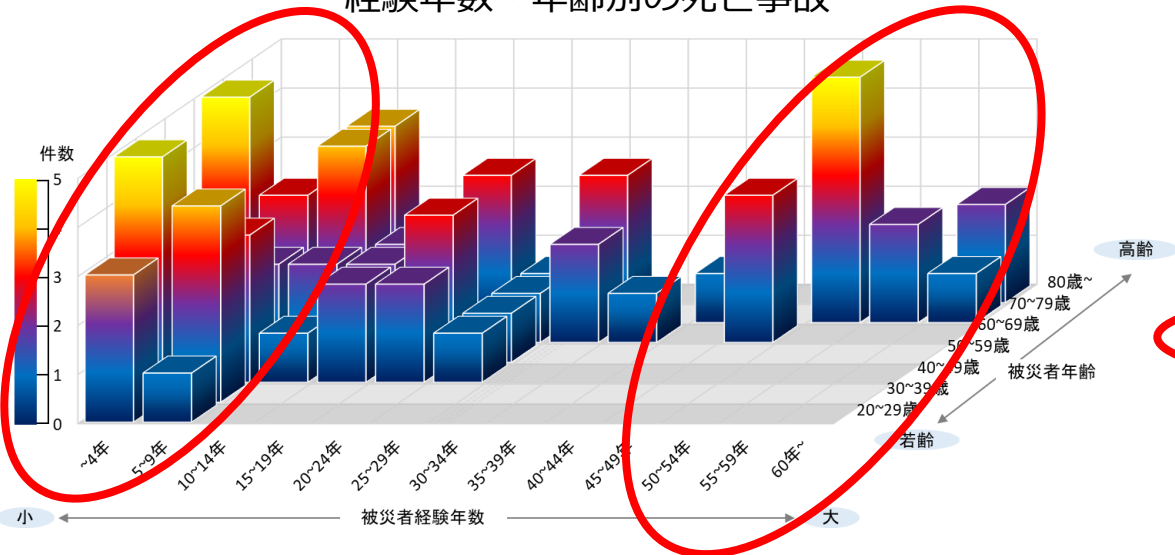
No.	月	都道府県	発生状況
16	7	兵庫県	伐倒作業中、かかり木を外すためのウインチの繊維ロープが切れ激突された
17	8	秋田県	下刈作業中、50度の斜面を移動中に滑落
18	9	宮城県	運材作業中、フォワードで作業道を後進しスイッチバックの転換箇所から転落した
19	〃	岡山県	車両系木材伐出機械を回送車に積み込む作業中、回送車が傾き転落した
20	〃	宮崎県	伐倒作業中、伐倒方向が変わった伐倒木に激突された
21	〃	愛媛県	作業道作設作業中、何らかの原因で機械とともに転落した
22	10	滋賀県	運材作業中、伐倒木を持ち上げるため足を乗せた伐倒木が動き体を強打した
23	12	高知県	集材作業中、土場で回転した集材木に激突された
24	〃	大分県	造材作業中、車両系建設機械にひかれた
25	〃	岩手県	伐倒作業中、根むくれた沢向かいの欠頂木が激突した

データ出典：林業・木材製造業労働災害防止協会林業労働災害（死亡災害）速報一覧

- ・ 令和7年の死亡災害は25件発生
- ・ うち6割の15件が伐倒作業中の災害
- ・ 事故の型別では「激突され」が約6割の16件

林業における労働災害の発生状況（その他）

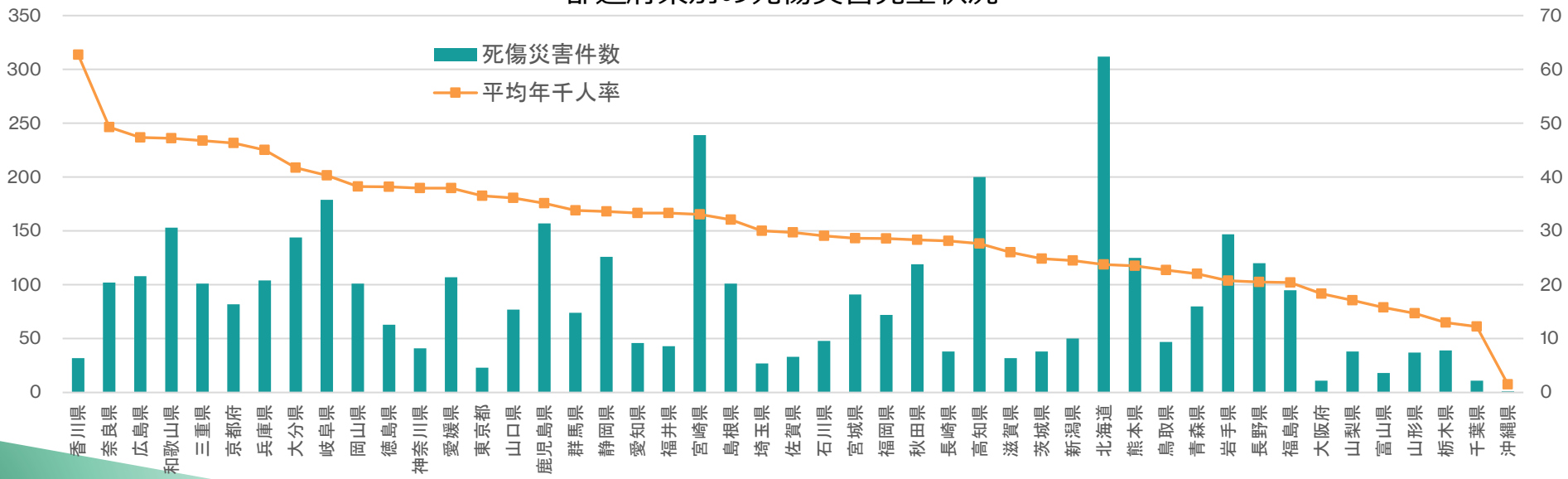
経験年数・年齢別の死亡事故



死亡災害の作業種類と誘因事象による分類

		誘 因 事 象					
		かかり木が外れ、跳ね	伐倒木と障害物が接触し	伐倒木が裂け	伐倒方向がずれ	なし	不明
業 種 類	チェーンソー伐倒		11	9	6	5	7
	かかり木処理	19	3				
	作業員による伐倒、伐倒補助				1		
	不明						1

都道府県別の死傷災害発生状況



林業労働安全対策の強化について～労働安全確保に向けた留意事項～

- ・ 林業労働災害の発生状況の分析結果を踏まえ、災害の発生頻度が高い項目を留意事項として整理
- ・ 経営者及び従事者それぞれの立場で求められる対策を示し、労働安全確保の取組を推進

留意事項	現状（分析結果）	対 策
①法令等遵守	関係法令や各種ガイドライン等で定められた禁止事項や遵守事項が守られていない	➤ 労災発生リスク認識、従事者に対する法令遵守の指導徹底、関係法令等に則した作業方法 等
②伐木作業等	伐木作業時の死亡災害が約7割（かかり木関係が多い）、チェーンソー作業時の切創事故が多い	➤ 作業計画書の作成、ヒヤリ・ハット事例の共有やKYT活動、適切なかかり木処理、切創保護衣や安全靴等の着用 等
③経験の浅い従事者	経験の少ない従事者に死亡災害が多い	➤ ヒヤリ・ハット事例の共有やKYT活動、熟練者による安全指導や伐倒技術研修の受講促進、指差呼称により安全な伐倒方法を確認、基本的作業方法の遵守 等
④経験豊富な従事者	経験のある従事者でも死亡災害が多い	➤ 基本的な作業方法の遵守徹底を指導、立木の状況に合った正しい追い口・受け口の作成 等
⑤高齢従事者	高齢従事者の死亡災害・傷害事故が多い	➤ 高齢従事者の身体能力等を踏まえた作業計画の作成 等
⑥小規模林業経営体	小規模な事業体での発生件数が多い	➤ 労働安全衛生法令や各種ガイドラインの遵守徹底 等
⑦地域や現場の状況	都道府県ごとに林業労働災害の発生傾向が異なる	➤ 地域における林業労働災害の発生状況等の情報収集に努め、類似災害を防止するための措置を講じる 等
⑧緊急連絡体制	災害発生を速やかに認知できない	➤ 緊急時の対応等の周知、従事者間の密な安全確認 等
⑨一人親方等	一人親方等も死亡災害が多い	➤ 労働安全衛生法令や各種ガイドライン等の定めに準じた安全対策の実施、意識的な情報収集 等

森林・林業基本計画における労働安全施策

第3 森林及び林業に関し、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策

2 林業の持続的かつ健全な発展に関する施策

(4) 林業従事者の労働環境の改善

イ 労働安全対策の強化

林業における労働災害の発生率は、他産業に比べて極めて高い水準にあることから、この状況を改善することは喫緊の課題であり、**死傷年千人率の10年後半減を目指して減少を加速させる必要がある。**

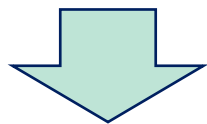
このため、関係者が一丸となって、労働安全対策を強化していく。具体的には、林業経営者が率先し、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）に基づき、特別教育の実施、伐木作業等における禁止事項の遵守、**ガイドラインに沿った安全作業や緊急連絡体制の整備**、発注者等が個人事業者等に対しても災害防止措置を講ずること等の徹底を図る。また、作業安全のための規範等の普及、林業経営体への安全診断や自己点検、巡回指導に取り組み、**林業経営者と林業従事者の双方の意識改革の徹底を図る**。あわせて、**林業従事者の伐木技術等の学び直し**を含めた研修の実施や、労働安全の確保に資する**林業技能士の資格取得、安全衛生装備や装置の効果的な導入**等を推進する。加えて、**林業経営体の安全対策等の取組を見える化する仕組みの検討**を行う。

これらの施策については、他産業での災害防止対策も参考にするとともに、関係府省、都道府県、関係団体等との連携の下、**地域の労働災害の発生状況等を踏まえ、その原因に応じた取組を重点的に実施**する。

また、伐倒木等から林業従事者を物理的に隔離することにより労働安全の確保を図る観点から、**遠隔操作・自動運転機械等の開発や実装を推進**する。あわせて、関係府省連携の下、それらの技術の安全確保のためのガイドラインの整備を進めるほか、労災保険の適用拡大の方向性を踏まえ対応を進める。

K P I 林業の労働災害発生率（死傷年千人率）：23（令和6年）→16（令和12年）

- 死傷災害は長期的に減少しているが
発生率は全産業の中で突出



- 発生状況の分析結果をふまえ
災害発生頻度が高い事項を抽出
経営者、現場事業者に求められる



9つの留意事項

- それぞれの立場で労働安全対策を実施
「日ごろの心がけ」「繰り返しの対策」が重要

ご清聴ありがとうございました
今日も一日ご安全に

